

## 接合科学研究所 グローバル D&I 推進室活動報告 異文化間コミュニケーション研修(実践編)と日本語コースの合同修了式

梅田 純子

グローバル D&I 推進室 室長

接合機構研究部門 複合化機構学分野 教授

2026年3月24日(火)に異文化間コミュニケーション研修(実践編)と日本語コースの合同修了式を開催しました。接合科学研究所(接合研)では、ダイバーシティ&インクルージョンの更なる推進を目的として、本学日本語日本文化教育センター(日日センター)と連携し、技術系職員を対象とした異文化間コミュニケーション研修(担当:松岡里奈特任講師)と、外国人教職員・学生向け日本語コース「Japanese for Daily Life in Engineering Labs」(担当:藤平愛美准教授・渡邊あやめ特任助教)を開講しています。合同修了式には、両コース受講者19名に加え、日日センターより加藤均特任教授、小森万里教授、藤平准教授、松岡講師、渡邊特任助教、接合研からは植原邦佳技術職員が列席しました。

異文化間コミュニケーション研修(実践編)は2025年9月~2026年3月に実施し、これまでに基礎編を修了した産業科学研究所(産研)の技術職員12名と接合研の技術職員4名が受講しました。本研修は、日日センターが接合研教職員を対象に開発したプログラムを基に、外国人教職員・学生への技術支援に携わる技術職員向けに、より実践的かつ身近な内容へ再構成したものです。日本語を介したコミュニケーションに加え、相互理解と尊重に基づく異文化理解の醸成を目的としています。修了式では研修成果のポスター発表が行われ、産研は「防火防災」、接合研は「廃液の扱い」をテーマに発表しました。いずれも明瞭で簡潔な言葉や表現により、日本語初級レベルの外国人のみならず日本人にとっても理解しやすい内容となっていました。

日本語コース「Japanese for Daily Life in Engineering Labs」レベル1は、2025年11月~2026年2月に実施し、接合研在籍の外国人教職員・学生6名が受講し、4名が修了しました。受講者の中には、昨年度から継続して受講した者もあり、積極的に日本語能力を高め、研究活動に活用しています。

合同修了式後は、接合研技術職員4名と日本語コース受講者4名による交流会が行われ、研修成果ポスターをもとに語彙や表現について意見交換をし、ポスターの改善点を協議する交流を行いました。日本語と英語を交えた対話を通じて相互理解を深め、誰もが活動しやすい研究環境づくりについて考える機会となりました。今後も本室では、多様な背景を持つ人々が共に学び、働きやすい環境の実現に向けて、交流機会の創出とD&Iの推進に継続的に取り組んでまいります。

